

## 第22回シンポジウム「高齢社会を共に生きる」の 実践報告・ゲスト報告要旨

### [実践報告]

「安心で安全なたのしいまちをみんなでつくるプロジェクト」  
一日常生活圏域での住民活動、話し合い、地域ケアの「場」づくりー  
佐藤 寿一(宝塚市社会福祉協議会事務局長)

身近な地域で住民が取り組む「活動拠点」づくりや「話し合いの場」づくり等を促進し、「小規模多機能なケア拠点」との協働を進めてきた。また、これらの活動の支援を目的に、大学の実習と連携した活動プログラムづくりや、地域福祉活動人材とリーダーの育成、コミュニティワーカー養成と他職種との連携に取り組み、社協内部の総合化に努めて、都市部における今日的な地域福祉活動のあり方と支援方法を模索した。

(所在地)兵庫県宝塚市安倉西2-1-1

「共遊・共育・共生の福祉のまちづくり」  
一身近な小地域における「共に」の視点からの取り組みー  
三角 光洋(都城市社会福祉協議会事務局長)

中山間地、農村、市街という特徴的な3つのモデル地域において、「共有(気づき)」、「(福祉)教育」、「共生」の3つの視点から、地域住民の参画と協働の仕組みづくりを進めてきた。具体的には、「生活支援会議」から発展した「お散歩見守り隊」や「環境パトロール隊」、「外出支援サロン・介護予防サロン」等の展開、自主財源獲得も踏まえた「元気市場」や「学童サロン」の開設、福祉コーディネーター「よかまち世話人さん」の育成等に取り組んだ。

(所在地)宮崎県都城市松元町4街区17

### [ゲスト報告]

「認知症高齢者が安心して暮らせる地域社会」  
一施設を拠点にした地域ケアシステムの展開ー  
石原 美智子(新生会理事長)

地域医療を行う中から見えてきた社会現象に対処すべく創設された高齢者福祉施設を核に、1976年の創設時からの理念を基礎として、重度の認知症入居者を拒否せずに介護を行ってきた。認知症高齢者の人権を尊重するために徘徊高齢者について歩くなど、地域と一体となった介護を行ってきた。住民の意識を高める必要性からNPO法人「校舎のない学校」の設立に至り、その中で認知症高齢者が講師役を担うなど、新しい福祉文化が芽生えはじめている。

(所在地)岐阜県揖斐郡池田町本郷1501